



令和6年6月1日
目黒区立目黒本町保育園園長

卒園児が作ったカラフルな日よけのタープに雨が当たって音がすることに2歳児の子どもたちが気づきました。保育士と雨音を聞いていると「雨の音なんて聞こえないよ」と年上の子どもたちが会話に参加してきました。「耳を澄ませてごらん」と保育士に言われ静かにはするものの半信半疑な様子です。ポツポツと布にあたる音が聞こえ「本当だ」と歓声をあげ、別の遊びをしている友達にも教え喜び、憂鬱な雨が楽しい発見に変わる瞬間でした。日常の様々な場面の中に子どもたちの発見があり、自分の感性を研ぎ澄ませて、喜んだり驚いたりしています。保育士も子どもたちの感動する心に寄り添い一緒に楽しんでいきたいと思えます。

今月は園だよりのレイアウトを変えて、子どもたちが大好きな園庭の特集をしています。保育室と園庭が身近な環境で子どもたちは好きな場所、遊びを満足いくまで楽しみ年上の子の遊びに憧れて挑戦したり小さい子に思いやりの気持ちで関わったり異年齢で自然に触れ合えることもできる園庭の魅力をお伝えします。

先月より各クラスの懇談会が始まりました。お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。保護者の皆様が育児の悩みを出し合いながらも、「これも成長の一環」と温かく感じていることが伝わり嬉しい気持ちになりました。今月も2クラスの懇談会を計画しています。子どもたちの成長を保護者の皆様と喜び合える機会に出来たら幸いです。

行事予定

歯科検診
耳鼻科検診
眼科検診

身体計測
避難訓練

懇談会予定

4歳児クラス
1歳児クラス
場所 ホール



『虫って不思議』～そう組(4歳児クラス)～



4歳児クラスには、発泡スチロール箱で作った「そう組虫ハウス」があり、花壇で見つけたダンゴムシや林試の森で見つけた虫などが入っています。子どもたちがテラスで虫のお世話をしているところに他クラスの子どもたちが来ると、虫ハウスからコメツキムシを取りだし「見ていてね。跳ぶから」とコメツキムシを裏に返しました。コメツキムシはモゾモゾと動き、ピョンと高く跳ね上がり元の姿に戻りました。それを見た子どもたちは目をまん丸にして「すごい」「もう1回」とリクエストしています。コメツキムシと触れ合いながら気づいた特性を友達に教え得意気に見せていました。別の日には数名の子が洗面器にナメクジとダンゴムシを入れ見ていたところに、隣で水遊びして遊んでいる子の水が入ってしまいました。「あ、水がはいちゃった。溺れちゃうよ」と一人の子が言うと、「大丈夫だよ。水の中でもはダンゴムシ泳げるから」と図鑑で覚えたことを実際の様子と重ね合わせ、友達と一緒に楽しんでいました。

子どもたちは虫と出会い、観察したり図鑑で種類を調べたりしながら虫の特性や扱い方を知り興味を広げています。今日も園庭では虫好きの虫博士たちが何かを発見するかもしれません。子どもたちの気づきや発見を保育士も一緒に楽しんでいきたいと思えます。

園庭紹介

花壇では、「幼虫いた」「ダンゴムシいた」の音が響きます。

鉄棒

- 5歳→「去年の年長さんみたいに逆上がりできるようになりたい」
- 1歳→「ほくも（お兄さんたちのように）やる」
- 2歳→（なわぶらんこは、バランスをとって揺れるのが）「たのしい」

虫はこういうところにいるよ。



ピールケースはお店屋さん、キッチン、お家と何でも作れるところが人気です。

初めての砂の感触に興味深々の0歳児。保育士が差し出す砂にそっと手を伸ばしています。

自由に水を使って、水遊びや泥遊びに夢中。水の冷たさや泥の感触を感じて、全身泥だらけです。

プランターコーナーでは、なすなどの野菜を育てています。水やりをしながら「花が咲いたよ」と生長を観察しています。みかんの葉の青虫の成長も喜んで見えています。

タイヤやマットは子どもたちが動かして、お家や滑り台など自由な発想で作っています。

